

本号では、北部地域活性化委員会に関する活動報告とスマートインターチェンジの情報や進捗状況等をお知らせします。

◇ 第3回「北部地域ワークショップ」を開催しました！ (令和5年2月15日水曜日)

- ▶ 当日は、38名の方が参加されました。
- ▶ 東京より豊橋市の政策推進アドバイザーの谷中修吾教授（ビジ初・ブレイクル大学）をお招きし、『超絶まちづくり』というタイトルの講義を、馬越地区の方と合同で受講しました。
- ▶ ワークショップでは、今までの意見交換の内容を踏まえ、「将来のまちの姿」をデザインしました。

○ 当日の様子



谷中氏の講義では、「超絶まちづくり」について、その内容と事例の紹介がありました。



ワークショップでは、各班に分かれ、地域の将来のまちの姿（案）を作成しました。



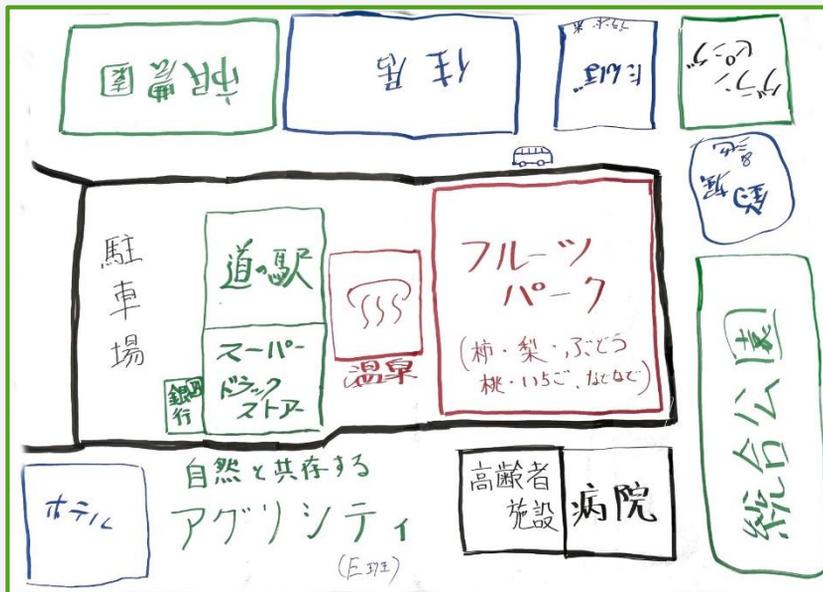
各班の代表者が、発表しました。皆さんに一番良いと思う案を投票してもらいました。

○ グループワーク「将来のまちの姿を考えよう」

スマートIC周辺に20haの土地があると仮定し、目玉となる取り組み（施設等）を中心に、「将来のまちの姿」を自由に配置しました。



参加者の皆さんによる投票の結果、もっとも共感を得たまちの姿（案）は **E班「自然と共存するアグリシティ」** でした。



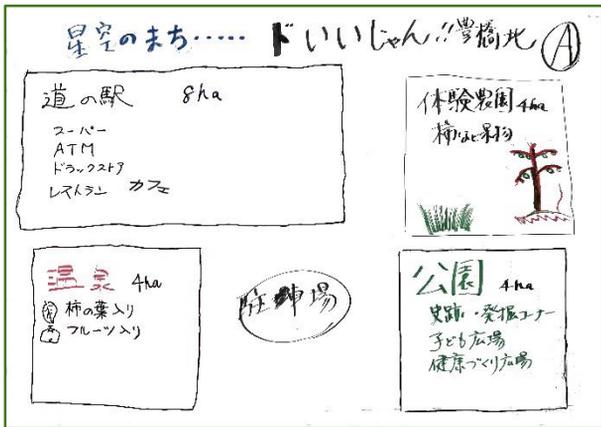
全体の4分の1の票数を獲得！

地元の果物を活かしたフルーツパークを中心に、観光客も地元住民も利用しやすいまちです。敷地内には、自動運転の巡回バスが走っています。

○ 皆さんのコメント抜粋

- ・コンセプトがしっかりしていた
- ・一番まとまっていた
- ・トータル的に良かった
- ・自然と農業、公園や温泉、道の駅等と住居、スーパー等バランスが取れている
- ・自然と共存するまちづくりが良い

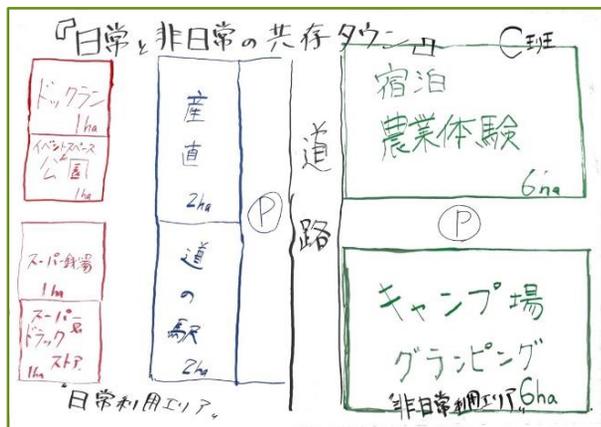
◇ほかの班の将来のまちの姿（案）も紹介します！



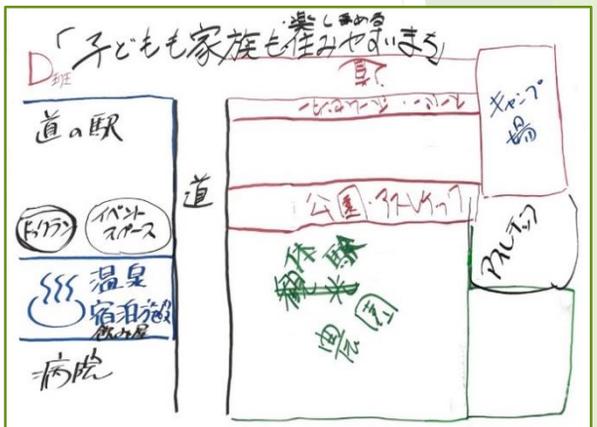
A班『星空のまち ドいいじゃん豊橋北』



B班『健康づくりのまち』



C班『日常と非日常の共存タウン』



D班『子ども家族も楽しめる住みやすいまち』

『超絶まちづくり』とは

全国で「まちづくり」を手掛ける谷中氏。過去のまちづくりの成功事例から、「**自分のやりたいこと**」からスタートすることが「まちづくり」を成功に導くことが多いそうです。特に、他にはない「**突き抜けたアイデア**」を先行させて「まちづくり」に取り組むことが『**超絶まちづくり**』です。

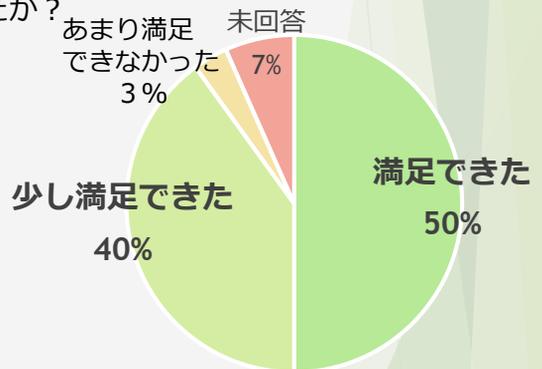
社会的課題を解決するためのまちづくりも大切ですが、「**自分がまちづくりでやりたいこと**」や「**自分たちの地元にあったらいいもの**」を先行して考えてみる視点も大切にしましょう。



谷中修吾氏

◇第3回ワークショップのアンケートを集計しました！

全3回のワークショップの内容は満足できましたか？



※参加者（男性：24名 女性：6名）



最後に、加藤委員長から活性化委員会の部会へ積極的な参加をしてほしいと呼びかけがありました。

また、令和4年度の活性化委員会へのご協力への謝意を伝え、引き続き令和5年度の活動へのご理解とご協力をお願いされました。

今後の北部地域活性化委員会の予定

皆さんのこれまでのワークショップの成果を参考にして、各作業部会が、まちづくりについての検討をしていきます。また、令和5年度は市民向けのワークショップを開催します。

問い合わせ先
委員長 加藤正俊氏
TEL：090-3553-7852
北部地域活性化プロジェクト事務局
TEL：0532-51-2531